



柳田四孝文集

初編  
下



觀流堂藏書

性

俳諧四季文集下

冬の部

あふのちゆきあふもー戸の裸もーあふもかーあふも  
に西上人の空の浮おをさるるよゆきあふも  
うーに多利さるる哉

空轉紙 仰もやねーいこの市 二柳

あふのちゆきあふもー戸の裸もーあふもかーあふも  
に西上人の空の浮おをさるるよゆきあふも  
うーに多利さるる哉

五春莊井眉



あまのついでに...  
あまのついでに...  
あまのついでに...

玉屑

あまのついでに...  
あまのついでに...  
あまのついでに...

五来

あまのついでに...  
あまのついでに...  
あまのついでに...

子東少あすもあふ独るあふよ

世々人まねの世

行脚  
空阿弥

佳景をとくまへ人をもよほし舞その人よあま

夕山やもみぢちふあまむ時を  
京  
蒼虬

暮るに四つ谷とくりあま履もきよはとの二十字は安後  
上人のまをふつつけまつくあまをよそをふえりはあて  
あまもあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま  
有つ日あまあまあまあまあまあまあまあまあまあま





天にや日とくしつらなるるのくすしつらなるるなりし  
かゆの都り氷とあはさちうりり つら 坂坊

甚目寺の大照園とくしつらなるるのくすしつらなるるなりし  
綱引ふかきつらなるるのくすしつらなるるなりし  
くふに佛おはす人まゝなるるのくすしつらなるるなりし

冬もまもるも捨る白き雪 かき 少汝

昔年とくしつらなるるのくすしつらなるるなりし

おもしろきおもしろき つら 万和

牡丹のくすしつらなるるのくすしつらなるるなりし  
かきつらなるるのくすしつらなるるなりし  
まな子秋子 つら なるるのくすしつらなるるなりし  
ゆきも相と稱の中なるるのくすしつらなるるなりし  
は掌君のくすしつらなるるのくすしつらなるるなりし  
輝くも つら なるるのくすしつらなるるなりし  
内裡 つら なるるのくすしつらなるるなりし  
ま つら なるるのくすしつらなるるなりし

猫の毛のよきれを成より 魚眼

名ははる幸と名のまじりよき方吉も甲世一  
一筆もるの親又おぼしめしものよきもたの  
今名ももいふまじりよき我も一雪洞よい一筆も  
あきとすくふ雪草とまじりよき一雪の落りよき  
従つ一碗の酒のくしなり

雪のくしよき一雪草 夜半

十一月廿九日

平〜いひの海書〜く〜ふ〜お〜お〜く〜印〜と〜碎中

の〜つ〜い〜は〜よ〜い〜見〜は〜お〜

か〜の〜和〜門〜は〜中〜と〜ま〜ら〜あ〜縄〜の〜お〜と〜ま〜ら〜つ〜の〜な〜り〜は  
〜の〜お〜と〜ま〜ら〜つ〜の〜な〜り〜は  
〜の〜お〜と〜ま〜ら〜つ〜の〜な〜り〜は

橙も〜め〜目〜は〜お〜て〜や〜〜れ〜ぬ 春哉

い〜は〜は〜里〜ま〜り〜く〜貴〜家〜の〜人〜の〜馬〜堂〜を〜坊〜ふ〜時〜志〜の〜板〜よ  
求〜新〜朝〜待〜飛〜禽〜墮〜土〜化〜米〜夕〜受〜飢〜鼠〜謾〜と〜書〜く〜一〜字〜の  
字〜は〜さ〜ら〜り〜中〜に〜お〜も〜る〜烟〜を〜見〜石〜は〜お〜和〜風〜は〜お〜つ〜ま〜る〜











ひ方すうさむりうせうまはまふいしうせうまふいしう  
日船のこしひ舟子うきやうは何代舟船といふ  
うせうまふいしうせうまふいしうせうまふいしう  
あはれいしうせうまふいしうせうまふいしう  
地と捨りしうやうそ人のたうしうせうまふいしう  
あさうしうせうまふいしうせうまふいしう  
うせうまふいしうせうまふいしうせうまふいしう  
焼くをぬきうしうせうまふいしうせうまふいしう  
うせうまふいしうせうまふいしうせうまふいしう  
ひまふいしうせうまふいしうせうまふいしう

河家集跋

又はとよとよ極まらば母の業うつく園の休も  
を煮ぬりうせうまふいしうせうまふいしう  
うせうまふいしうせうまふいしうせうまふいしう  
うせうまふいしうせうまふいしうせうまふいしう

遊柳女

たは原序

近くしうの角うりしうせうまふいしうせうまふいしう

うなゆ〜 難儀と〜 ありの備つ〜  
商人の〜 増進と〜 ありあけ  
や〜 の〜 行國の〜 人の〜  
〜 都の〜 取出〜  
〜 の〜 の〜  
た〜 一冊あり

むらさき集

腹の中〜 の〜  
巢兆う〜 書〜

郝隆の〜 人〜 又鬼を〜 俗世の〜  
出〜 の〜 の〜  
〜 ぬ〜  
〜 序を〜  
世〜

新撰六帖  
た〜

世〜







~~~~~四歳むすの牛~~~~~  
~~~~~金谷大言の十六あふさひ~~~~~  
~~~~~逆のさつとさ報せられたる~~~~~  
~~~~~のほ~~~~~  
~~~~~海~~~~~

みら彦

花多目附序

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

紀梅價

喘々皆序

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

あきしめ 魚心てまの申ふと 松よのあつたかよ  
あししめ 一足の泳ぐのあつたかよ 松や松や

黄葉廿六

あししめ集

はししめのあししめ人いふあししめあししめあししめ  
かよあししめあししめあししめ 夏肥後のあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ

あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ

篤老

自筆句帳序類

古人言ふあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ  
あししめあししめあししめあししめあししめあししめあししめ

その中不雅の如く指紙屋をもちまわつてから半  
あつちの馬尺子走ふ夕時阿のまきぬ士を集  
しつ今まの彼雅うれし指を扇をもちまわ士を輯めて  
予不席きよと常むとてまむものありま世の俗流  
よつとまむものあり上まむものありまむものあり  
あつちの織杵を減の磨し懸流のふ紙穿つと一尺  
佛の合丸しとす神不類突てもねむくまへし極く言  
名の楷杵を樊るまむとすつ道中からかむものありまむものあり  
まむものありかむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり

瑞馬

上まむものありまむものありまむものありまむものあり  
這出るまむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり  
まむものありまむものありまむものありまむものあり

一窓菴の主人むの白紙紙あれを大湖わはし  
まむものありまむものありまむものありまむものあり

じんと其後の彩華都として　そのものとて  
 清く朗と　と　煙も似たりありわりの画と母あり  
 詩に那け江向る地え　と　のたのた　と　わ　と　の  
 ち　と　ひ　と　ま　と　ま　と　る　里　の　山　と　と　年

升六

角又まわい　つけ國　と　一　暮　と　や　く　と　入　の　後　と　と  
 地　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 申　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 事　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と

角　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 筋　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と  
 け　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と　と

に不殺とてくちをえんま由をくちまおつて家  
の一言をいれぬ我れ坊の勸進状をいづるも  
なきそくはれいり人の道なきとていひ  
衆人けむる事知ぬらん昔とていひ  
新羅ふくむるもあはれ  
中へ職者のきりかへ通る事いひんまふもの

若くは 不二茶  
戯去

安室越と旅よる路  
とていひ

神のまゝに伊波の山人我れ備ぬらうたの句は  
雲のほいすのまふよはちとて神のまゝに  
二見の浦の波は袖ちかつく人らむも  
書はくまはれとて再いへる事  
たはれ句をから人のまふく  
まふものたはれとていひ  
たはれとていひ

あまの人  
井眉

大坂書林鹿島献可堂藏版目錄

鹿島献可堂藏版

七支子詩集 小本 一冊

發蒙書東式 三冊

伊勢泰宮名所志 六冊

同 掌故 三冊

傷寒五法 五冊

愚問賢注 一冊

同 註解 二冊

茶道七事式 二冊

同六窓抄 三冊

同 國字解 二冊

町見辨疑 五冊

盆石圖式 二冊

同 七律解 二冊

三界一心記 一冊

茶湯心法 一冊

詩法授幼抄 小本 一冊

將棊指覽抄 小本 二冊

農家心得草 一冊

絶句律平仄位置圖ナニニ詩作ノヨリニナルベクナリニ熟語ヲアツム

勝地百益 二冊

狂歌芳分船 一冊

斧介集 辭聯ノ書全 一冊

詩對類語 同 全 一冊

詩家法語 熟字全 一冊

詩對類語 同 全 一冊

詩家法語 熟字全 一冊

詩家法語 熟字全 一冊

勝地百益 二冊

狂歌芳分船 一冊

詩家法語 熟字全 一冊

勝地百益 二冊

狂歌芳分船 一冊

詩家法語 熟字全 一冊

勝地百益 二冊

狂歌芳分船 一冊

鹿島献可堂藏版

和歌相火桶 二冊

新元法 一冊

本名氏新元法 二冊

同拾遺 二冊

其角新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

同元元集 四冊

貞徳新元法 二冊

俳諧小づち 一冊

同四季歌歌 二冊

芭蕉袖巻紙 一冊

同小舟の流 一冊

同松楓抄 一冊

俳諧やがら 一冊

俳諧夏の道 二冊

同流の傳 二冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

瓢水発句集 二冊

藍村発句集 二冊

柳菴句集 二冊

西賢集 二冊

俳諧分載 二冊

数々の句集 一冊

季家相火桶 一冊

片香及片紙 一冊

同二歌四巻 一冊

同四部要 一冊

同附句注解抄 二冊

同新考 二冊

同季家相火桶 一冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

瓢水発句集 二冊

藍村発句集 二冊

柳菴句集 二冊

西賢集 二冊

俳諧分載 二冊

数々の句集 一冊

季家相火桶 一冊

片香及片紙 一冊

同二歌四巻 一冊

同四部要 一冊

同附句注解抄 二冊

同新考 二冊

同季家相火桶 一冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

同二人文庫 一冊

同百家句選 一冊

俳諧新考 二冊

同流川 一冊

同新流川 一冊

御酒、重垣 小梅園水巻

此段の... 御酒、重垣 小梅園水巻

釋迦如來一代記口吹 全八冊

三教經略 四冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

三聖利益傳 五冊

扱の記 鳥居書 一冊

國字帖 同書 全一冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

熟字口府 天山書 二冊

數箇室鑑 二冊

便用瓶 一冊

煎茶仕用集 二冊

治痢神書 張介賓著 二冊

万病回春 大本 半切本 首書本 四冊 八冊

ト養和歌集 二冊

和歌集 二冊

天久八卦抄 一冊

漢倉家記 十三冊

和漢郎詠集 鳥居書 二冊

刪笑府 二冊

鹿洲社末抄 二冊

裁名便覽 懷中折本

東野州聞書 全三冊

茶湯名物記 全三冊

茶湯名物記 全三冊

茶湯名物記 全三冊

繪本二十四孝

法橋王山画

全一冊

巻乃首に... 繪本二十四孝

同増補二十四孝 全一冊

諸國武邊嘯 全六冊

諸國武邊嘯 全六冊

諸國武邊嘯 全六冊



二十六夜仙全冊

藤仲孝子他の撰二十六人  
画傳の了りその

多の独けい

上の...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

俳諧四季文集

長水...  
...  
...

繪本武將勳功記

十二冊 室町殿...  
...

同 孝女傳

六冊 法橋...  
...

同 武者揃

三冊  
...

同 武勇繪繼

三冊  
...

古今 井眉菴選

芭門...  
...

俳諧 四季類題集

全二冊  
...

白引

全一冊  
...

將軍家譜

全部十冊  
...

高貴涅槃

長去海堂  
筆  
年中...  
...

俳諧浪花

二冊  
...

折句いろは引

日乃志  
日大全  
...

折句式大全

日類題  
日趣向  
...

前句三志

日画朗詠  
日明題選  
...

前句袋

前句小笥  
前句選  
...

前句大全

前句手鑑  
...

日 興御書繪抄

全一冊  
...

日 熈帝孫

全一冊  
...

やうき

